

令和5年11月7日

東京都千代田区四番町5番地3  
科学技術振興機構（JST）  
Tel：03-5214-8404（広報課）  
URL <https://www.jst.go.jp>

**「第11回科学の甲子園ジュニア全国大会」出場チームが決定  
～全国から26,369人の中学生がエントリー、科学の力を競う～  
19の企業・団体が科学好きな生徒を育てる機会を支援**

JST（理事長 橋本 和仁）は、科学好きの裾野を広げるとともに、次世代の科学技術イノベーションの創出を担う優れた人材の育成を目的として、全国の中学生が都道府県を代表して科学の力を競う「第11回科学の甲子園ジュニア全国大会」を令和5年12月8日（金）から12月10日（日）まで、兵庫県姫路市で開催します。このたび、出場する全都道府県の代表チームが決定しました。

本大会は、全国の中学生が科学と実生活・実社会との関連に気付き、科学を学ぶことの意義や楽しさを実感できる場として実施しています。全国大会では、各教育委員会が実施した都道府県大会で選出された47の代表チームが6人1チームで、理科や数学などの複数分野にわたる「筆記競技」と「実技競技」に取り組み、総合点を競います。各地での代表選考には、昨年度より1,780人増え、総計26,369人の生徒が参加しました。

また、本大会は産学官が一体となった新たな科学技術系人材育成モデルとして設計されており、この趣旨に賛同した19の企業および団体が、協賛または応援機関として本大会への支援を決定しています。

なお、本大会は一般の方も観覧いただけます（要事前登録）。

JSTでは、発達段階に応じ才能を伸ばせるよう体系的な人材育成に取り組んでいます。「科学の甲子園ジュニア全国大会」や、本年度で13回目を迎える高校生版「科学の甲子園全国大会」などの事業を通じて、科学好きの裾野を広げ、活躍する機会を提供していきます。

大会の概要や出場チーム、観覧の事前登録などの詳細は、別紙または下記ホームページを参照してください。

日 程：令和5年12月8日（金）～12月10日（日）  
場 所：アクリエひめじ（姫路市文化コンベンションセンター）  
（兵庫県姫路市神屋町143-2）  
U R L： <https://koushien.jst.go.jp/koushien-Jr/>

**<添付資料>**

- 別紙1：「第11回科学の甲子園ジュニア全国大会」都道府県代表チーム 一覧  
別紙2：「第11回科学の甲子園ジュニア全国大会」協働パートナー 一覧  
参 考：「第11回科学の甲子園ジュニア全国大会」開催概要

**<お問い合わせ先>**

科学技術振興機構 理数学習推進部 才能育成グループ  
〒332-0012 埼玉県川口市本町4-1-8 川口センタービル  
太田 三晴（オオタ ミツハル）、兵子 智子（ヒョウゴ トモコ）  
Tel：048-226-5665  
E-mail： [koushien-jr\[at\]jst.go.jp](mailto:koushien-jr[at]jst.go.jp)

## 「第 11 回科学の甲子園ジュニア全国大会」都道府県代表チーム 一覧

都道府県	学校名
北海道	八雲町立熊石中学校、函館ラ・サール中学校
青森県	八戸市立長者中学校、青森県立三本木高等学校附属中学校
岩手県	岩手大学教育学部附属中学校、盛岡市立上田中学校
宮城県	古川学園中学校、仙台市立南小泉中学校
秋田県	由利本荘市立矢島中学校、湯沢市立湯沢南中学校
山形県	山形大学附属中学校
福島県	福島大学附属中学校、川俣町立川俣中学校
茨城県	茨城県立日立第一高等学校附属中学校、茨城県立土浦第一高等学校附属中学校
栃木県	宇都宮大学共同教育学部附属中学校
群馬県	前橋市立第三中学校、群馬県立中央中等教育学校
埼玉県	川口市立高等学校附属中学校、栄東中学校
千葉県	千葉県立東葛飾中学校
東京都	渋谷教育学園渋谷中学校、筑波大学附属駒場中学校
神奈川県	洗足学園中学校、横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校
新潟県	見附市立見附中学校、三条市立大崎学園
富山県	富山大学教育学部附属中学校、滑川市立早月中学校
石川県	能美市立辰口中学校、小松市立板津中学校
福井県	鯖江市中央中学校、福井県立高志中学校
山梨県	山梨学院中学校、山梨大学教育学部附属中学校
長野県	塩尻市立丘中学校、信州大学教育学部附属松本中学校、安曇野市立穂高東中学校 松本秀峰中等教育学校、南箕輪村立南箕輪中学校
岐阜県	垂井町立不破中学校
静岡県	静岡大学教育学部附属浜松中学校、浜松市立丸塚中学校
愛知県	海陽中等教育学校
三重県	津市立一志中学校、高田学苑高田中学校
滋賀県	滋賀県立守山中学校
京都府	京都府立洛北高等学校附属中学校、京都府立南陽高等学校附属中学校
大阪府	摂津市立第一中学校、高槻中学校
兵庫県	須磨学園中学校、明石市立大久保中学校
奈良県	東大寺学園中学校
和歌山県	開智中学校
鳥取県	湯梨浜学園中学校、鳥取大学附属中学校

都道府県	学校名
島根県	島根大学教育学部附属義務教育学校、隠岐の島町立都万中学校
岡山県	岡山県立倉敷天城中学校
広島県	広島学院中学校、広島大学附属中学校
山口県	周南市立周陽中学校、山口県立下関中等教育学校
徳島県	鳴門教育大学附属中学校、徳島文理中学校
香川県	香川大学教育学部附属高松中学校、香川大学教育学部附属坂出中学校、 香川県立高松北中学校
愛媛県	愛光中学校
高知県	土佐中学校
福岡県	久留米大学附設中学校、大牟田中学校
佐賀県	佐賀県立致遠館中学校、弘学館中学校
長崎県	長崎県立佐世保北中学校
熊本県	熊本県立玉名高等学校附属中学校
大分県	平松学園向陽中学校
宮崎県	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校、宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校
鹿児島県	鹿児島大学教育学部附属中学校
沖縄県	沖縄県立球陽中学校、沖縄県立開邦中学校

「第 1 1 回科学の甲子園ジュニア全国大会」協働パートナー一覧  
 (50音順・予定含む)

No.	協賛企業・団体
1	株式会社内田洋行
2	株式会社エムス・テック
3	株式会社学研ホールディングス
4	ケニス株式会社
5	株式会社島津製作所／株式会社島津理化
6	スカパーJ S A T株式会社
7	帝人株式会社
8	テクノプロ・グループ
9	株式会社東芝
10	トヨタ自動車株式会社
11	株式会社ナリカ
12	公益財団法人 日本科学協会
13	公益社団法人 日本理科教育振興協会
14	公益財団法人 ひょうご科学技術協会
15	UBE三菱セメント株式会社

No.	応援企業・団体
1	サントリーホールディングス株式会社
2	スクールサポート株式会社
3	公益財団法人 日本発明振興協会

## 「第11回科学の甲子園ジュニア全国大会」開催概要

### 1. 目的

科学の甲子園ジュニアは、理科や数学などにおける複数分野の競技に協働して取り組むことを通じて、全国の中学生が科学の楽しさ、面白さを知り、科学と実生活・実社会との関連に気付き、科学を学ぶことの意義を実感できる場を提供することによって、科学好きの裾野を広げるとともに、未知の分野に挑戦する探究心や創造性に優れた人材を育成することを目的とします。

### 2. 全国大会の実施・協力体制

- ① 主催 科学技術振興機構（JST）
- ② 共催 兵庫県、兵庫県教育委員会、姫路市
- ③ 後援 文部科学省、全日本中学校長会、全国中学校理科教育研究会、公益社団法人 日本理科教育振興協会
- ④ 都道府県教育委員会および協働パートナーの協力を得て開催

### 3. 開催日程

- ① 令和5年12月8日（金）～12月10日（日）
- ② 大会の日程は以下の通り

12月8日（金）	開会式、オリエンテーション
12月9日（土）	筆記競技、実技競技、フェアウェルパーティー
12月10日（日）	協働パートナーなどによるブース展示、表彰式

### 4. 場所

アクリエひめじ（姫路市文化コンベンションセンター）  
（兵庫県姫路市神屋町143-2）

### 5. 出場チーム

- ① 各都道府県教育委員会は、当該都道府県内の全ての中学校などを対象とした全国大会の代表を選考するための都道府県大会を行います。その実施方法は当該都道府県教育委員会の定めによります。
- ② 全国大会出場チームは、1都道府県1チームとします。
- ③ 全国大会出場チームは複数の学校で編成される場合もあります。
- ④ 出場チームは中学1、2学年の生徒（中等教育学校前期課程にあっては同年次の生徒）で構成します。
- ⑤ 出場チームの員数は6人とします。

### 6. 競技の種類

全国大会では、筆記競技と実技競技を行います。

- ① 筆記競技  
理科・数学などの複数分野において、実生活・実社会との関連、融合領域に配慮した出題とし、生徒の習得済みの知識に加え、競技に必要な新たに示された情報を統合することで課題を解決します。
- ② 実技競技  
ものづくりの能力、コミュニケーション能力などを用いて課題解決能力を競います。

## 7. 競技の形式

筆記競技は6人1チーム。実技競技は3人1チームで、課題を分担、相談するなど協力して成果を競い合います。競技数、競技者数および競技時間は以下の通りです。

種目	競技者数	競技時間
筆記競技	6人	70分
実技競技①	3人	90分
実技競技②	3人	160分

## 8. 表彰など

- ① 各競技の成績点数の合計によって優勝チームを決定します。
- ② 優勝チームに文部科学大臣賞を授与するほか、成績上位チームについても表彰します。
- ③ 主催者は協賛企業を募り、その他の表彰を授与します。

以上